

令和6年度 当初予算の概要



防府市土木都市建設部

目 次

◇ 当初予算編成の基本的な考え方	1
◇ 予算の状況	2
◇ 主要な事業	
防府・未来へのネットワーク構想	3
一般国道2号台道拡幅促進事業	4
華城小学校周辺道路整備事業	5
牟礼小学校周辺道路整備事業	6
市道側道牟礼二号線外道路改良事業	7
防府北基地東道路整備事業	8
佐波川右岸広域防災広場整備事業	9
文化福祉会館解体跡地 防災広場整備事業	10
防府第二テクノタウン隣接市道整備事業	11
市道真尾線道路改良事業	12
通学路等整備事業	13
基地周辺障害対策事業	14
緊急自然災害防止対策事業	15

小規模急傾斜地崩壊対策事業	16
港湾整備関連事業	17
空家等対策事業	18
防府駅周辺施設等管理事業	19
公園整備事業 （大平山山頂公園整備）	20
公営住宅建替等事業	21
公営住宅ストック総合改善事業	22
住宅・建築物耐震化促進事業	23

当初予算編成の基本的な考え方

第5次防府市総合計画の基本目標である「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、重点プロジェクト『新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築』をはじめとするまちづくりを着実に進めます。

- ▶ 災害時や緊急医療における市民の安全・安心の確保、産業の更なる活性化のため、国・県・市が連携し、新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築を進めます。
- ▶ 災害時の避難場所や、物資の広域輸送拠点となる防災広場の整備を進めます。
- ▶ 大雨等による浸水被害の軽減を図るため、河川の浚渫や護岸改修、排水ポンプ場の更新を進めます。
- ▶ メバル公園エリアを継続的に整備することで、市民の憩いの場として更なる賑わいを創出します。
- ▶ 空き家の適正管理や危険空き家の除却を促進するとともに、空き家と狭い道路の一体的な解消を目指す「防府モデル事業」を推進します。
- ▶ 住民の憩いの場となる公園や防府駅周辺が安全に利用できるよう、カーボンニュートラルにも配慮した整備を進めます。
- ▶ 安全・安心に暮らすことのできる良質な公営住宅を提供するため、市営住宅の改善や老朽化が進む住宅の建替えを計画的に進めます。
- ▶ 能登半島地震災害を踏まえ、木造住宅の耐震化の促進や危険なブロック塀の除去など、地震に対する安全性の向上を図ります。

令和6年4月1日 土木都市建設部長 石光 徹

予算の状況

(単位：千円)

予 算 費 目	令和 6 年度予算【A】		令和 5 年度 当初予算 【B】	増減額 【A】－【B】	前年度比 【A】／【B】
	令和 5 年度 補正予算	令和 6 年度 当初予算			
款) 総務費		2,529	2,858	▲ 329	88%
項) 総務管理費		2,529	2,858	▲ 329	88%
款) 土木費	120,000	4,184,944	3,759,932	545,012	114%
項) 土木管理費		99,133	95,816	3,317	103%
項) 道路橋りょう費	120,000	1,202,853	1,247,408	75,445	106%
項) 河川費		405,282	295,359	109,923	137%
項) 砂防費		38,350	40,025	▲ 1,675	96%
項) 港湾費		168,797	169,881	▲ 1,084	99%
項) 都市計画費		1,897,898	1,625,800	272,098	117%
項) 住宅費		372,631	285,643	86,988	130%
款) 消防費		2,010	1,761	249	114%
項) 消防費		2,010	1,761	249	114%
款) 災害復旧費		150,000	20,000	130,000	750%
項) 土木施設災害復旧費		150,000	20,000	130,000	750%
土木都市建設部予算	120,000	4,339,483	3,784,551	674,932	118%
一般会計歳出予算（市全体）		59,560,000	54,880,000	4,680,000	109%

※令和 5 年度補正予算欄に計上している予算は、事業の推進を図るため、国の補正予算を活用し、令和 6 年度当初予算と一体的に編成した予算です。

対前年度比の主な増額理由

河川費：災害を未然に防ぐ工事を推進するため、浚渫、河川改修やポンプ場更新に係る経費を増額しています。

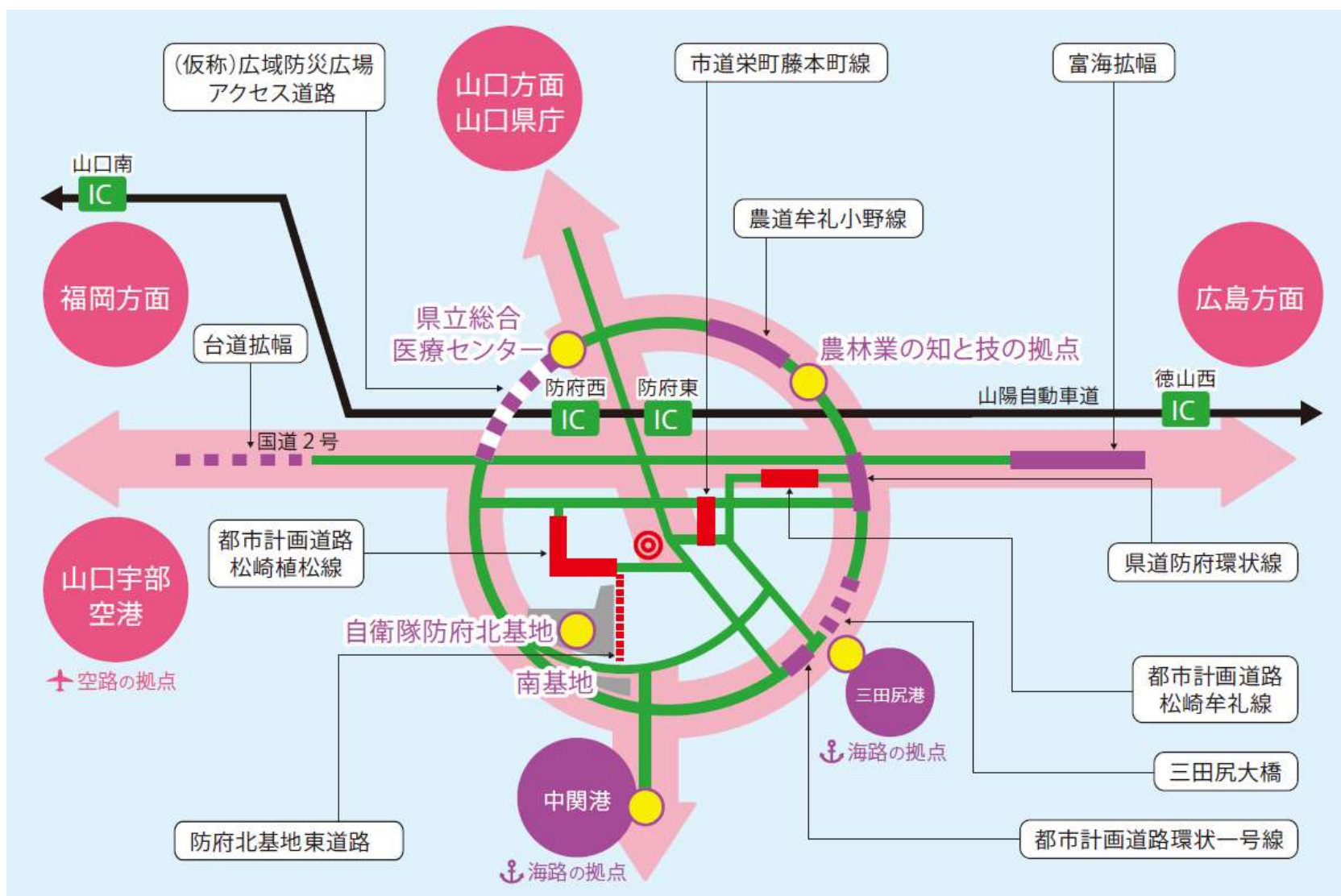
都市計画費：本格化する佐波川右岸広域防災広場の整備に係る経費を増額しています。

住宅費：公営住宅等長寿命化計画に基づく、市営住宅の改善及び坂本住宅の建替えに係る経費を増額しています。

土木施設災害復旧費：被災した道路や河川などの復旧を迅速に行うため、予め予算を確保したため、大幅に増額しています。

主要な事業

防府・未来へのネットワーク構想



【拡充】一般国道2号台道拡幅促進事業 6,200千円

[道路課]

◆一般国道2号台道拡幅促進事業 420万円

【事業説明】

昨年度、県により一般国道2号台道鑄銭司間の整備ルートの都市計画が決定されました。

引き続き、台道鑄銭司間の4車線化及び歩道の設置等の実現に向け、国や県に対し、早期事業化と予算確保を強く要望します。



◆臨海部幹線道路交通分析業務 200万円

【事業説明】

実施内容：企業ヒアリング等

一般国道2号台道拡幅区間を含む台道地区内の国道2号沿いに計画している産業団地の整備を見据えた陸上輸送機能の更なる強化のため、本市臨海部の工場群や三田尻中関港へのアクセス道路となる臨海部の幹線道路の交通量分析を県と連携して行います。



【継続】 華城小学校周辺道路整備事業 (都市計画道路松崎植松線、市道小徳田野地線)

180,500千円

[道路課]

【事業説明】

華城小学校の通学路である市道三田尻西浦線は、幅員が狭く、歩道も未整備であることから、バイパスルートとして整備する都市計画道路松崎植松線と市道小徳田野地線に歩道を整備し、通学路の安全を確保します。

令和6年度実施内容

松崎植松線

- ・ 用地補償

小徳田野地線

- ・ 用地補償

全体計画

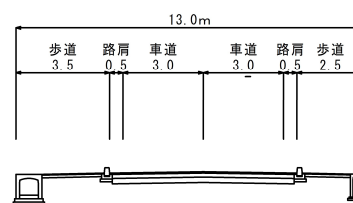
総延長 L=660m

総事業費 7億2,000万円

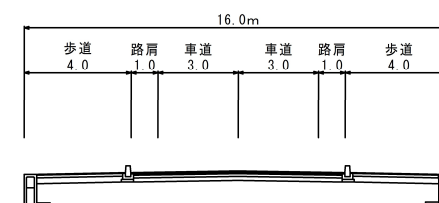
事業期間 令和3年度～令和9年度（予定）



市道小徳田野地線



(都) 松崎植松線



【継続】牟礼小学校周辺道路整備事業 (都市計画道路松崎牟礼線)

65,300千円

[道路課]

【事業説明】

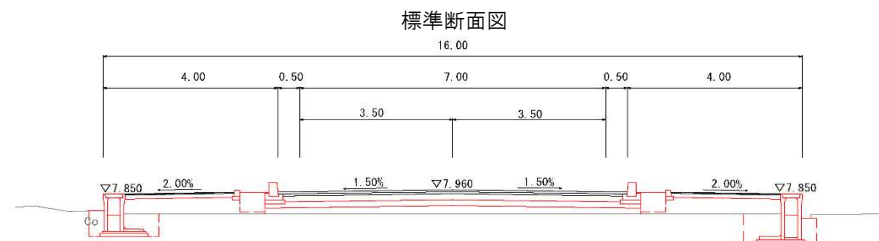
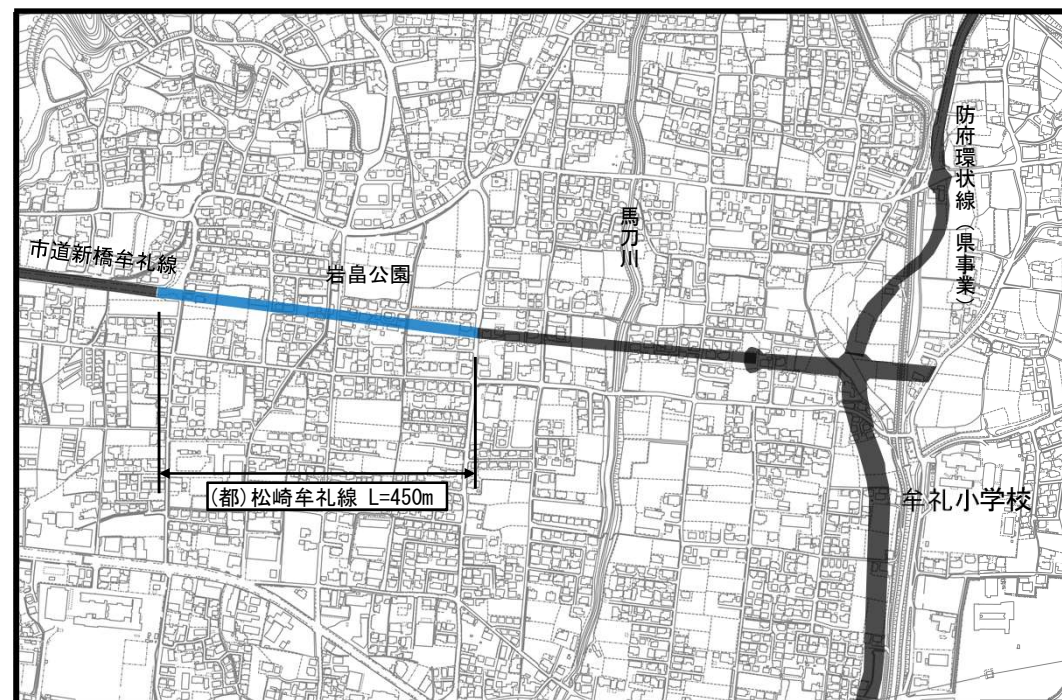
周辺道路の利便性の向上や通学路としての安全を確保するため、都市計画道路松崎牟礼線の整備を行います。

令和6年度実施内容

- ・用地補償

全体計画

総延長 L=450m
総事業費 15億3,000万円
事業期間 令和3年度～令和10年度（予定）



【継続】市道側道牟礼二号線外道路改良事業

18,200千円

[道路課]

【事業説明】

山口県が整備を進めている県道防府環状線と国道2号とのアクセス性向上及び通学路の安全確保を図るため、市道側道牟礼二号線の拡幅及び歩道の設置を行います。

令和6年度実施内容

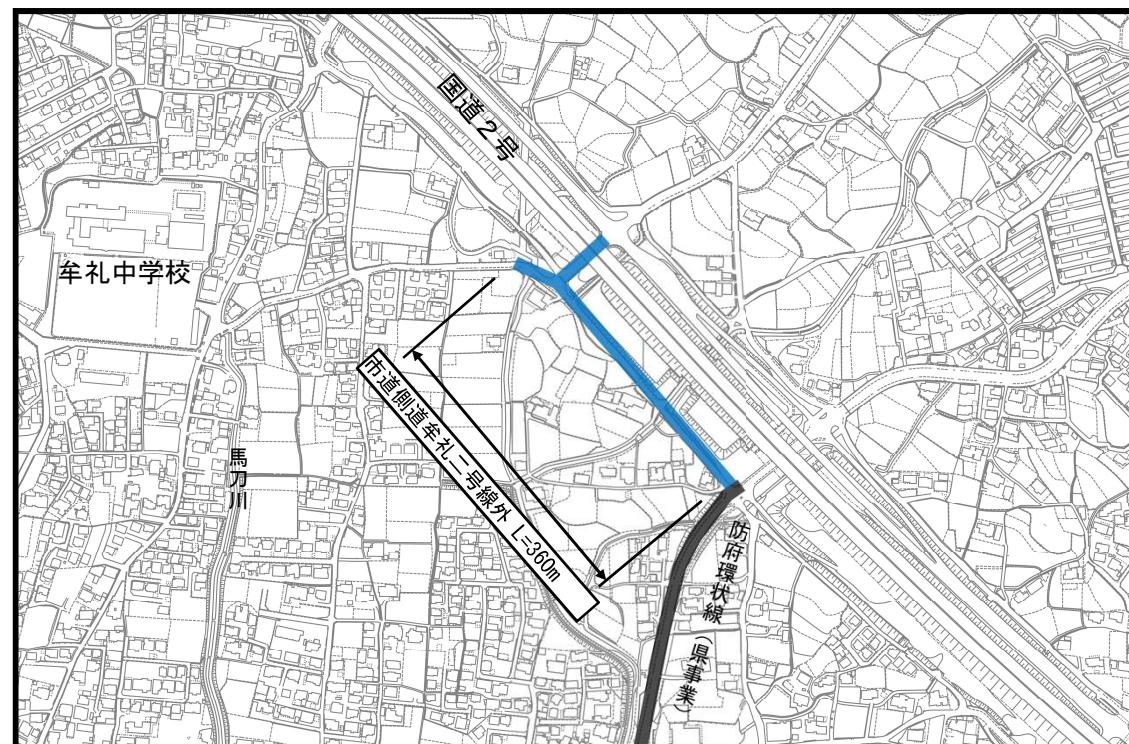
- ・ 用地測量、用地補償
道路改良工事

全体計画

総延長 L=360m

総事業費 2億3,000万円

事業期間 令和5年度～令和7年度（予定）



【継続】防府北基地東道路整備事業 (市道新橋中関線)

189,889千円

[道路課]

【事業説明】

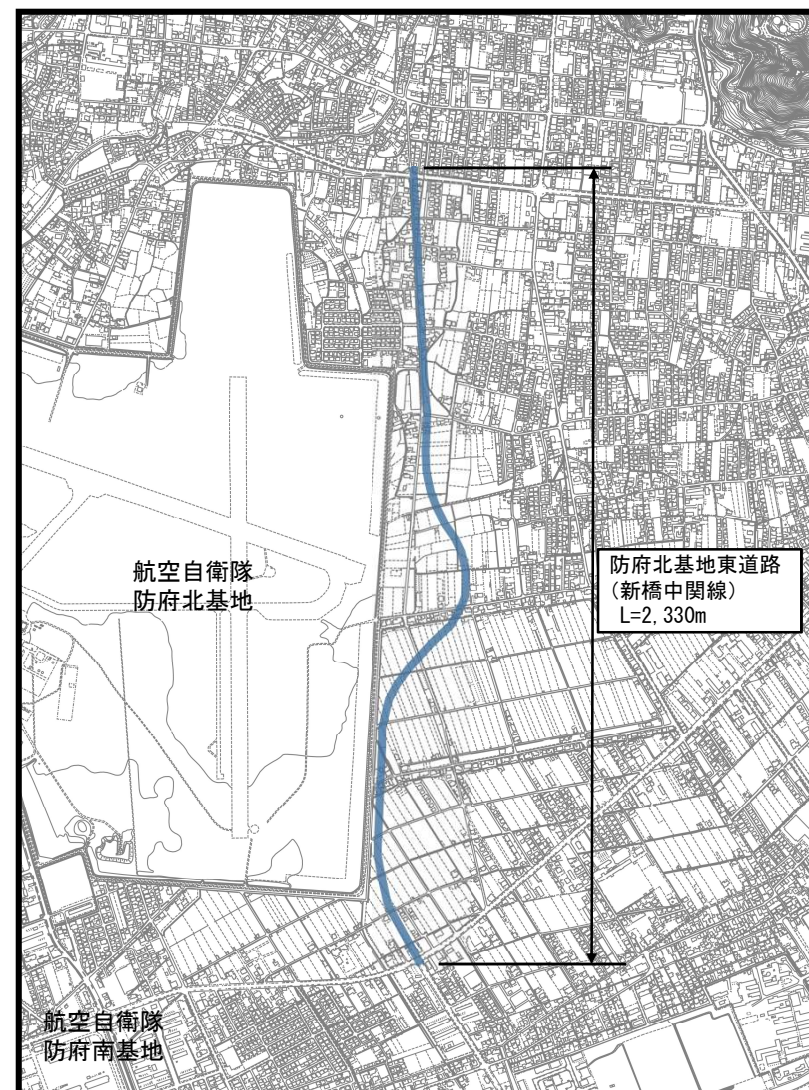
防府北基地の有事や自然災害に対応するため、緊急避難及び緊急輸送を支える幹線道路(緊急輸送道路)を確保し、かつ、臨海工場地への朝夕の通勤渋滞の緩和、歩道の新設による通学路の安全確保を図るため、市道新橋中関線(華城から中関まで)の整備を行います。

令和6年度実施内容

- ・ 詳細設計、用地測量
用地補償、補償算定業務

全体計画

総延長 L=2,330m
総事業費 28億1,000万円
事業期間 令和4年度～



【継続】佐波川右岸広域防災広場整備事業

1,024,000千円

[道路課]

【事業説明】

近年頻発する災害から、市民の生命、財産を守る防災対策を、より一層推進するため、佐波川の右岸地域に、県央部の広域的な輸送拠点となり、応急仮設住宅も建設できる大規模な防災広場の整備を行っています。令和6年度から造成工事に着手し、令和7年度の完成を目指します。

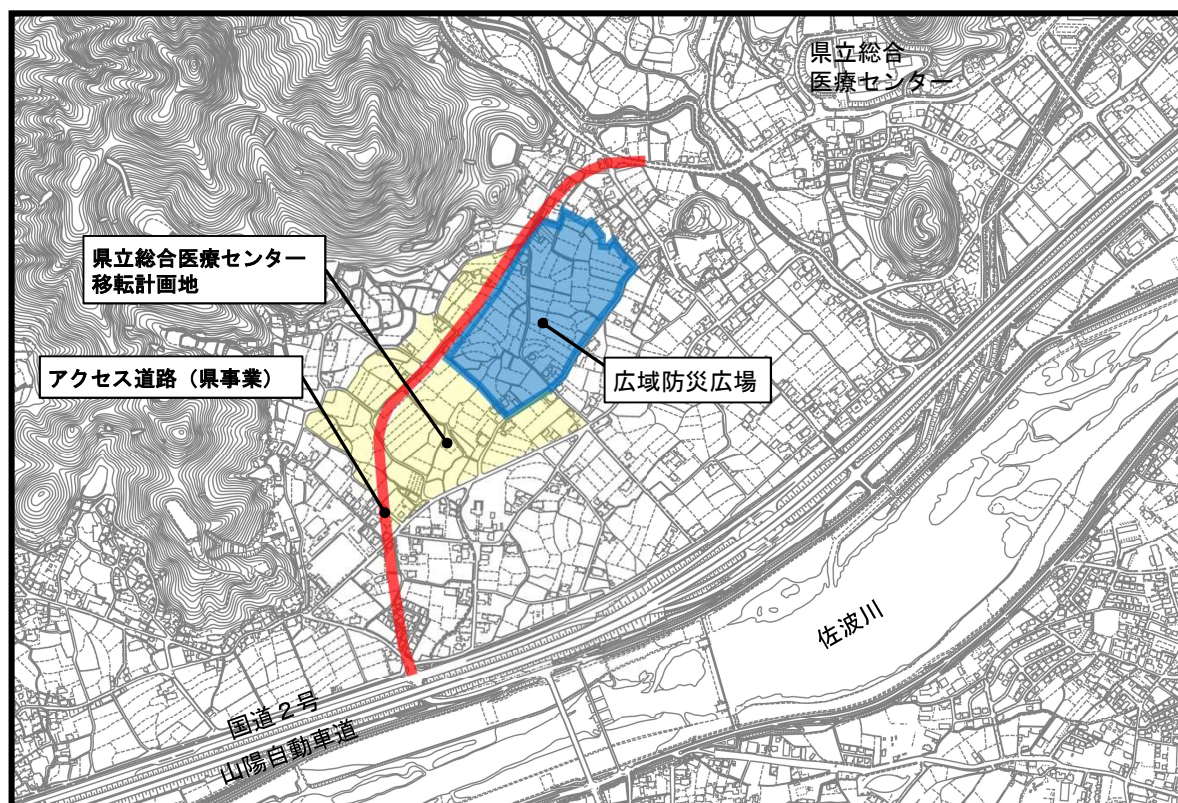
また、玉祖神社南周辺の浸水対策のための調査、解析を行います。

令和6年度実施内容

広場造成工事
浸水対策解析業務
用地補償

事業期間

令和3年度
～令和7年度 造成完了（予定）



【新規】文化福祉会館解体跡地 防災広場整備事業

56,000千円

[道路課]

【事業説明】

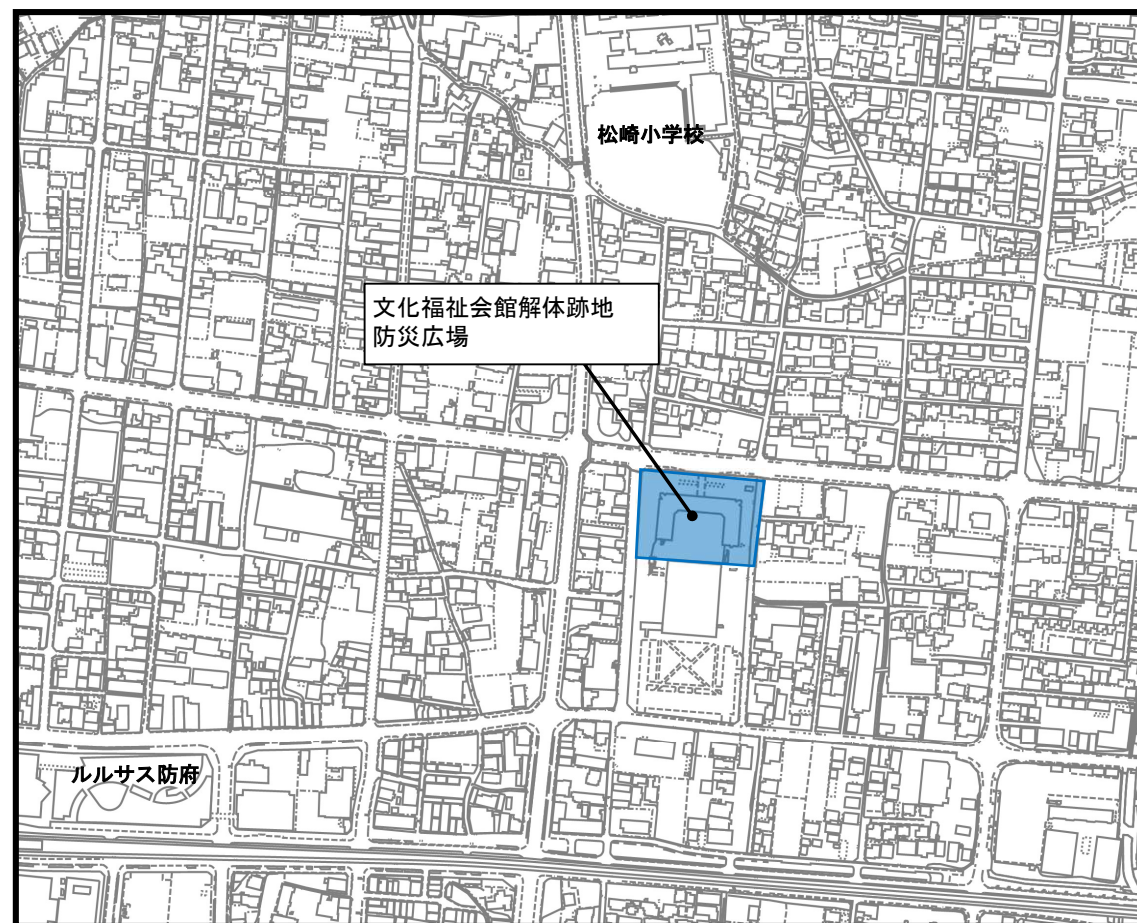
近年頻発する災害から、市民の生命、財産を守る防災対策を、より一層推進するため、
平時は駐車場や賑わいを創出する場として活用する防災広場を文化福祉会館解体後の跡地に整備します。

令和6年度実施内容

- ・ 詳細設計業務

事業期間

令和6年度
～令和7年度 造成完了（予定）



【継続】防府第二テクノタウン隣接市道整備事業 (市道四ノ栴三ノ栴線外1路線)

182,000千円

[道路課]

【事業説明】

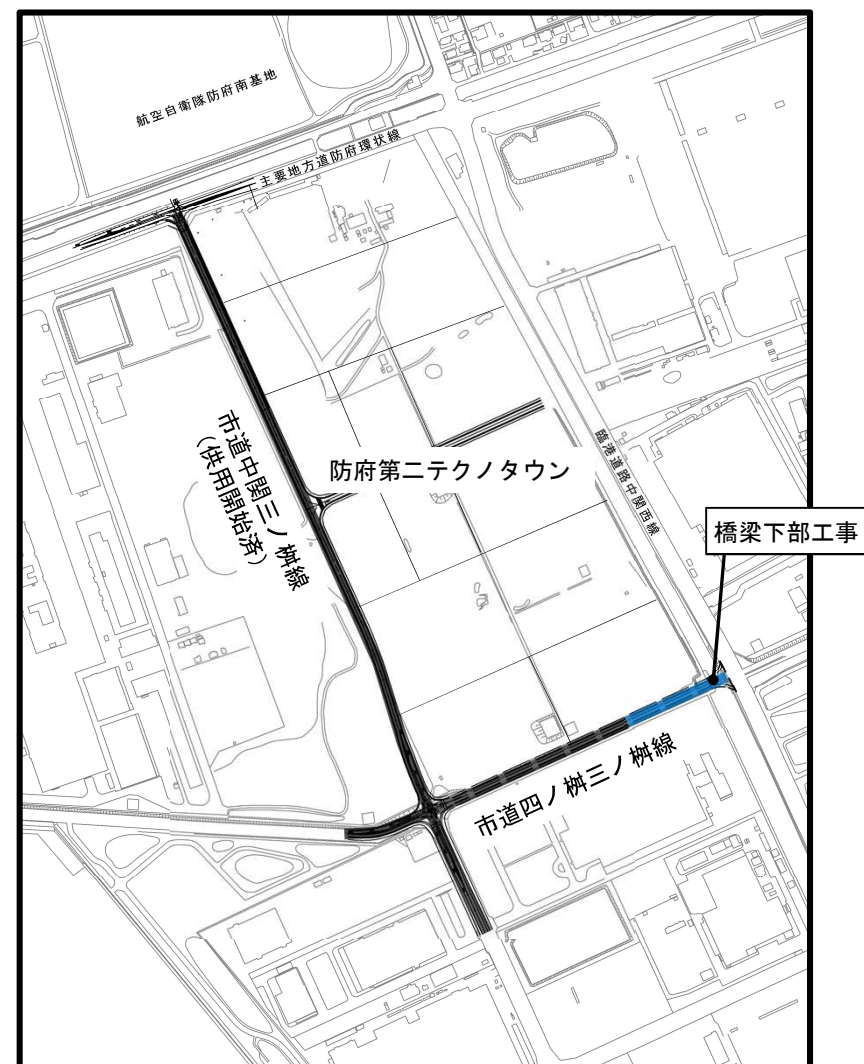
産業団地「防府第二テクノタウン」への企業誘致を円滑に進めるとともに、進出した企業の物流利便性を高めるため、産業道路へのアクセス道路を整備します。

令和6年度実施内容

- ・ 橋梁下部工事（令和4年度
～令和6年度）

事業期間

- ・ 総延長 L=1,070m
- ・ 総事業費 13億円
- ・ 事業期間 平成29年度
～令和8年度（予定）



【継続】市道真尾線道路改良事業

123,500千円

(令和5年度3月補正40,000千円含む)

[道路課]

【事業説明】

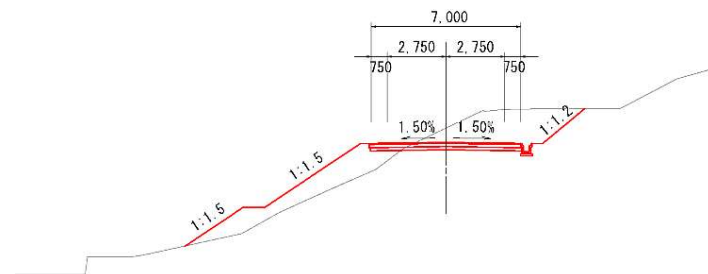
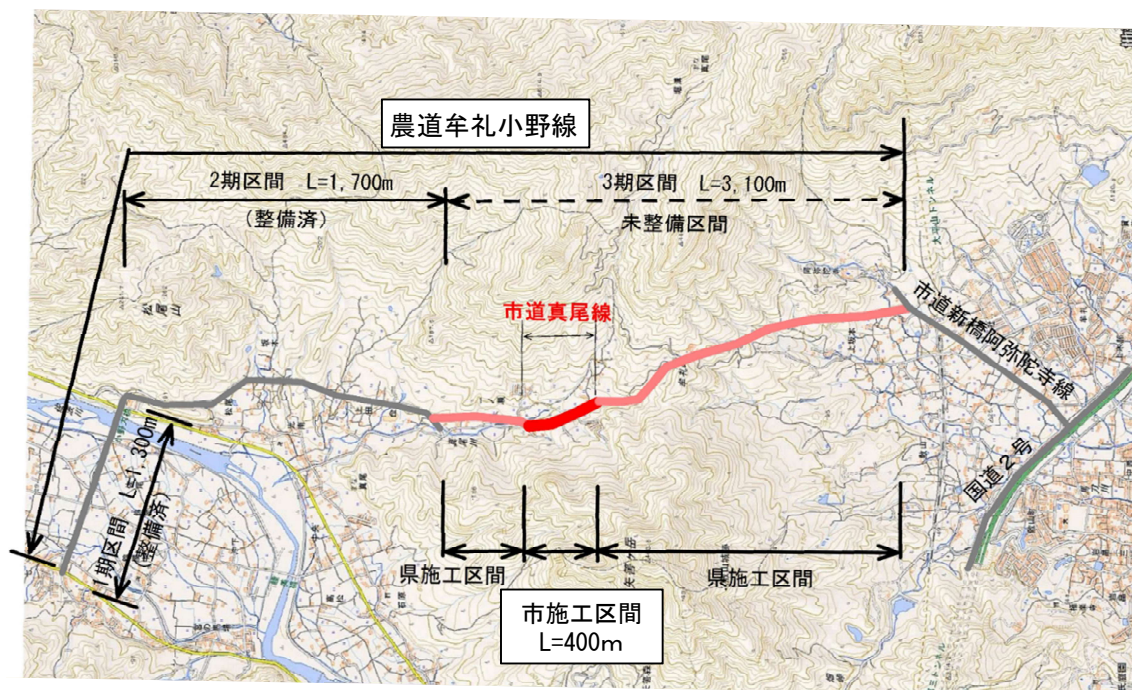
農産物輸送の効率化、地域農業の振興及び災害時における避難道としての機能を併せ持つ、県が整備を行っている農道牟礼小野線にあわせて、その区間の一部である市道真尾線の整備を行います。

令和6年度実施内容

- ・ 道路改良工事
- ・ 物件移転補償

事業期間

- ・ 総延長 $L=400\text{m}$ (市施工区間)
- ・ 総事業費 1億6,000万円
- ・ 事業期間 令和2年度
～令和7年度 (予定)



【事業説明】

子どもの交通安全対策を推進するため、通学路点検等の結果を踏まえて、カラー舗装や路肩の整備を行い、通学路の安全を確保します。

令和6年度実施内容

- ・ 通園、通学路のカラー舗装
- ・ 通学路の路肩整備

通園・通学路のカラー化



通学路の路肩整備



子どもの交通安全対策の推進

横断歩道のカラー化



【継続】 基地周辺障害対策事業

133,820千円

[河川港湾課]

【事業説明】

基地周辺の浸水被害の防止・軽減を図るため、老朽化が著しい幹線水路の改修工事を引続き行うとともに、諏訪屋排水機場の詳細設計を行います。

○令和6年度実施内容

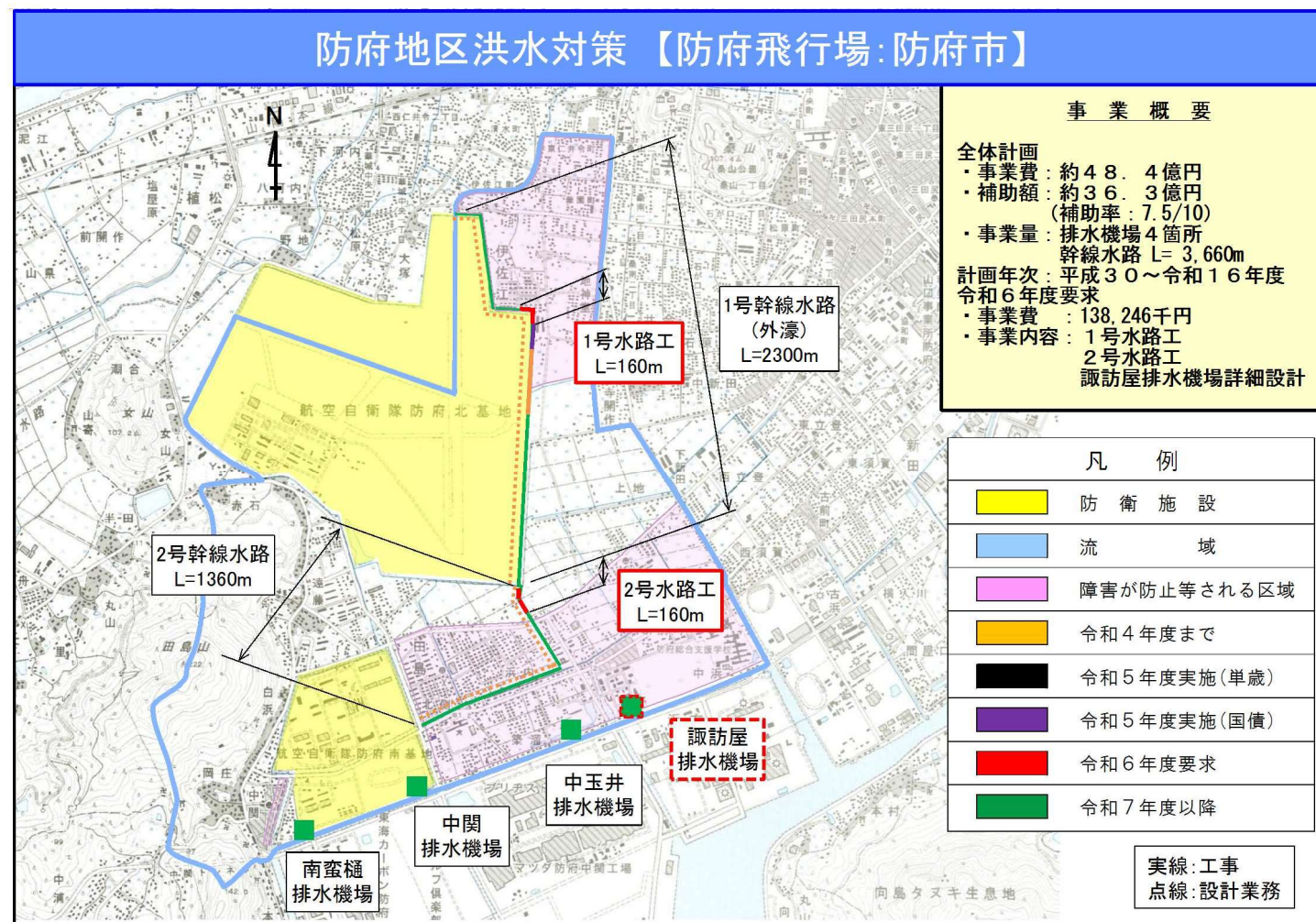
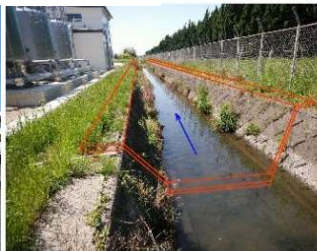
- ・ 1号水路工 L=160m
- ・ 2号水路工 L=160m
- ・ 諏訪屋排水機場詳細設計

□全体計画

総事業費 48億4,000万円
平成30年度～令和16年度予定
排水機場 4箇所
幹線水路 L=3,660m

排水機場

幹線水路



【継続】緊急自然災害防止対策事業

237,500千円

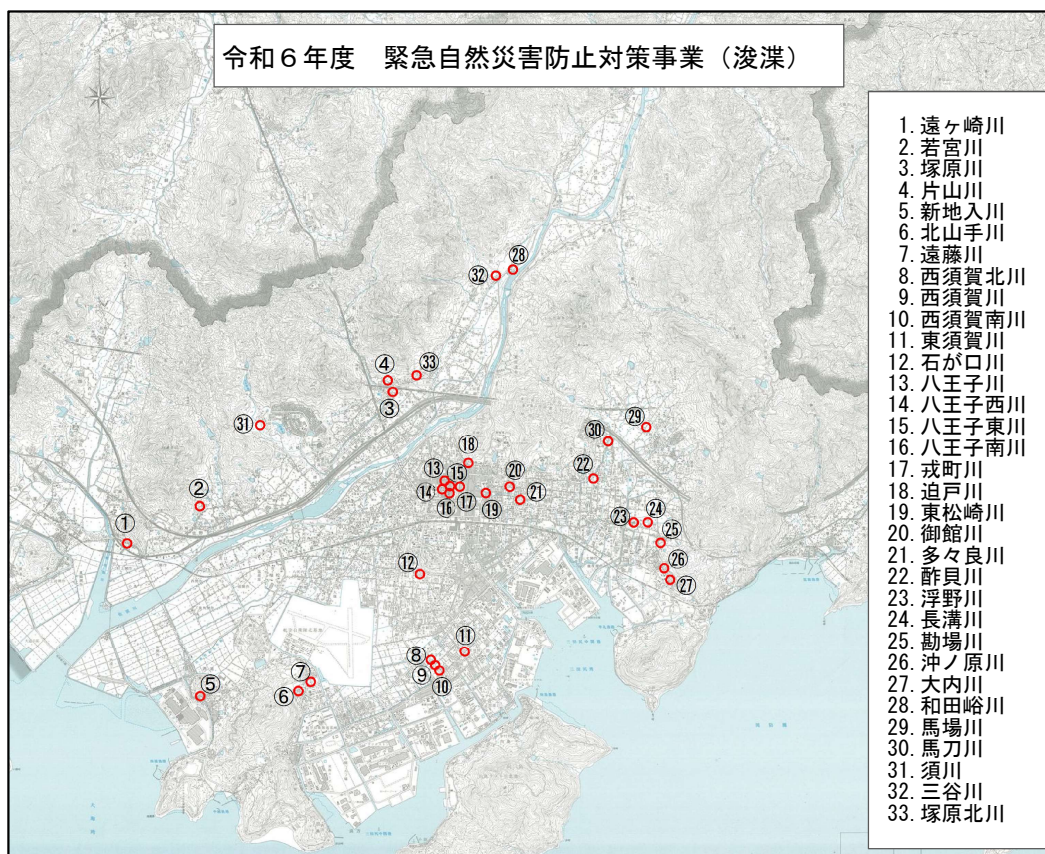
[河川港湾課]

【事業説明】

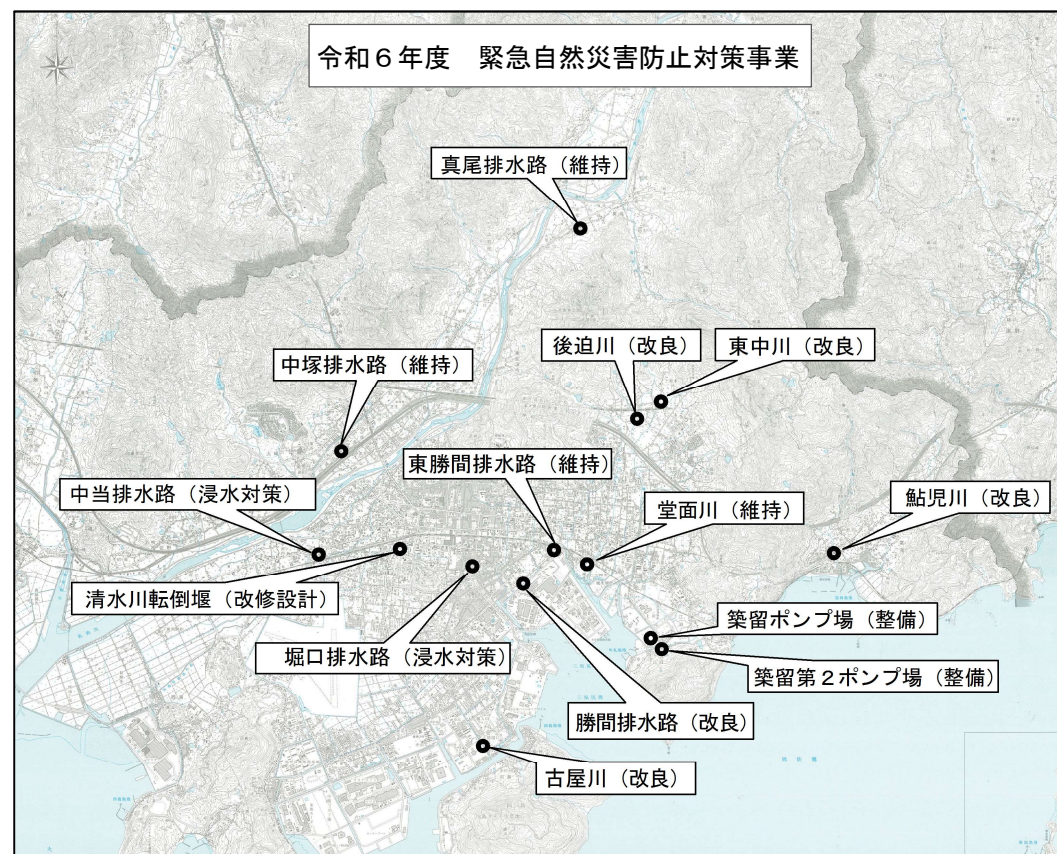
災害の予防や拡大防止を目的に、河川の維持・改良を行います。

- | | | |
|----------------|--------|-------------|
| (1) 河川浚渫工事 | 多々良川外 | : 5,000万円 |
| (2) 河川・排水路維持工事 | 中塚排水路外 | : 1,200万円 |
| (3) 河川改良・改修工事 | 後迫川外 | : 1億3,500万円 |
| (4) 河川ポンプ場整備工事 | 築留ポンプ場 | : 3,250万円 |
| (5) 市街地浸水対策工事 | 堀口排水路外 | : 800万円 |

令和6年度 緊急自然災害防止対策事業（浚渫）



令和6年度 緊急自然災害防止対策事業



【事業説明】

急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命・財産を守るため、急傾斜地施設の管理を行うとともに、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業費の一部を負担します。

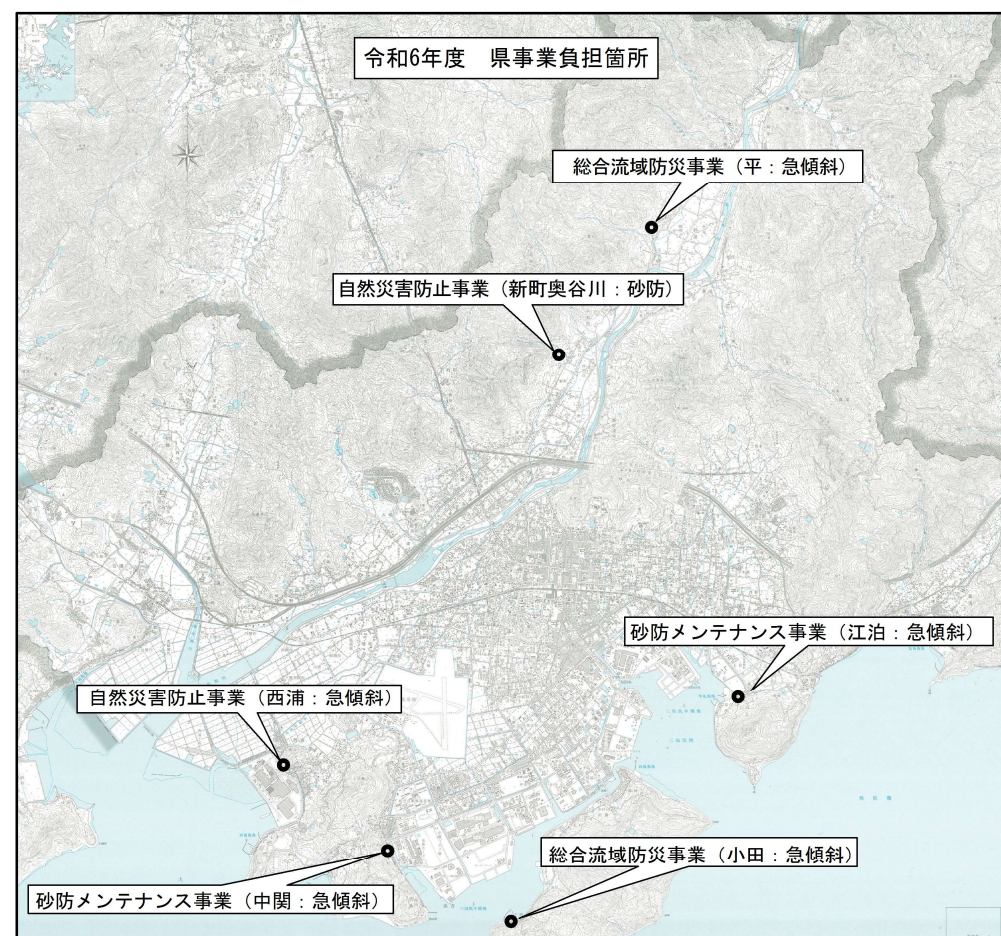
令和6年度実施内容

《県事業負担金》

- (1) 総合流域防災事業(急傾斜)
 - ・ 小田、平： 2,100万円
- (2) 砂防メンテナンス事業(急傾斜)
 - ・ 江泊、中関：1,100万円
- (3) 自然災害防止事業(砂防)
 - ・ 新町奥谷川： 200万円
- (4) 自然災害防止事業(急傾斜)
 - ・ 西浦： 400万円

《市管理施設》

- (5) 伐木・除草業務
 - ・ 中浦： 35万円



【拡充】 港湾整備関連事業

14,309千円

[河川港湾課]

【事業説明】

重要港湾三田尻中関港三田尻地区の賑わい創出、中関地区の物流機能の強化を図ります。

(三田尻地区)

飛び出し防止のためのフェンス設置や遊具を増設することで、メバル公園の安全性の確保やリピーター及び新規来場者を獲得し、エリア全体の持続的な活性化を図ります。

(中関地区)

中関3号岸壁延伸を実現するため、民間と一体となった港湾の利用促進を図るとともに、国・県に対し、事業化に向けた要望活動を行います。



【拡充】空家等対策事業 36,038千円

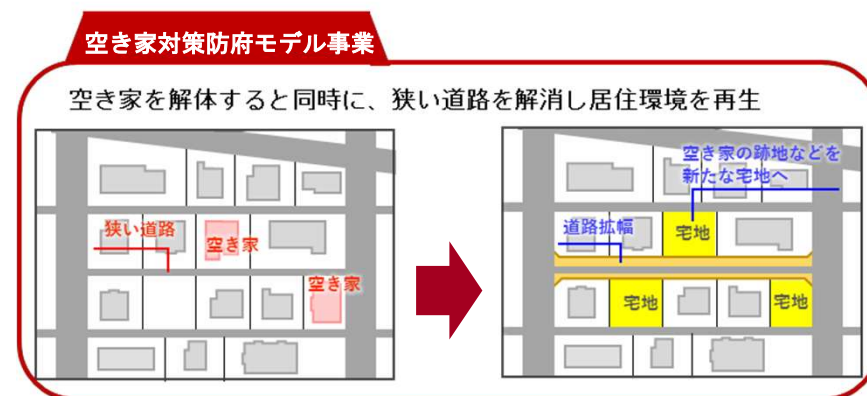
[都市計画課]

【事業説明】

第2次防府市空家等対策計画に基づき、専門家団体等と連携した空き家無料相談の開催や補助制度の実施などにより空き家の除却や利活用を更に促進させます。

また、多くの空き家が狭い道路の周辺に存在することから空き家対策防府モデル事業の実施により、空き家と空き地、狭あい道路の一体的な解消を目指します。

加えて、令和7年度に策定する次期空家等対策計画の基礎資料となる空き家の実態調査、意向調査を実施します。



項 目	内 容
危険空き家等解体費補助事業	○危険空き家(不良度100点以上で周囲に影響有)を除却する費用の補助【補助率1/2、上限額50万円、20件程度】 ※野島加算(危険空き家の除却に伴う廃材の搬出費用等)あり【補助率1/2、上限額50万円、3件程度】 ○老朽空き家(旧耐震基準以前で不良度50点以上)を除却する費用の補助【補助率1/2、上限額25万円、20件程度】 ○防府モデル事業で空き家を解体する場合の費用の補助【補助率1/2、上限額25万円(危険空き家は50万円)】
空き家利活用改修費補助金【拡充】	○空き家バンクの登録物件を改修する費用の補助【対象に賃貸物件を追加、補助率1/2、上限額50万円、6件程度】
空き家対策防府モデル事業	○空き家・狭あい道路の一体的な解消を行う事業者等が行う道路工事等の費用を補助【上限額1,000万円、1件】
空き家無料相談	○宅地建物取引士による空き家無料相談を毎月開催
空家等対策資材等給付事業	○地域が実施する空き家の危険予防のための応急措置や環境保全活動に対して、飛散防止用ネット等の資材を給付
財産管理制度の活用	○周囲への危険性や抵当権等の有無、売却見込み等の諸条件を考慮のうえ、優先度の高い空き家から財産管理制度を活用して管理人や清算人の選任申立てを行う。
空き家実態調査及び意向調査【新規】	○令和7年度に策定予定の次期防府市空家等対策計画の基礎資料となる空き家等の状態把握及び空き家の所有者に対する管理方針等の確認を目的とする調査で、空き家の状況把握は令和5年度に県のシビックテックチャレンジYAMAGUCHIの取組で開発した調査アプリを用いる方法で実施する。

【拡充】防府駅周辺施設等管理事業

120,000千円

[都市計画課]

【事業説明】

本市の玄関口である防府駅を中心とした「まちなか」をグレードアップし、活力ある中心市街地を形成するため、駅周辺で整備が進んでいる各施設、既存施設、防府駅を結ぶ動線を整備します。

(南北自由通路)



After



(駅舎名ライトアップ)



【新規】公園整備事業（大平山山頂公園整備）

50,000千円

[都市計画課]

【事業説明】

国の掲げる「こども未来戦略方針」において、こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民との交流機会を生み出す空間の創出などの取組が急務であると示されています。

こうした中、大平山山頂公園は開園から20年が経過し、遊具の老朽化が進んでいることから、新たにカーボンニュートラルに配慮した木製遊具の整備を行い、こどもの遊び場の確保を進めていきます。併せて、憩いの場となる山頂駅周辺の整備を進めます。

◆大平山山頂公園の整備・保全

- ・ 山口県産木材（大平山間伐材）を利用した遊具等の整備の実施
- ・ 安全で快適に利用できる公園施設等の整備



【拡充】 公営住宅建替等事業 86,550千円

[建築課]

【事業説明】

市営坂本住宅は、築後約50年経過し建物の劣化が著しいため、防府市公営住宅等長寿命化計画に基づき建替えを進めています。

令和6年度から7年度にかけて、建替えに係る基本設計及び実施設計を行います。

＜現在の坂本住宅＞



＜今後の予定＞

- ・ 戸数 約200戸
- ・ 建設 令和8年度～令和15年度

【継続】公営住宅ストック総合改善事業 169,790千円

[建築課]

【事業説明】

良質な住宅環境を提供するため、防府市公営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を行います。

令和6年度実施内容

- ・市営丸山住宅60棟外壁落下防止工事
- ・市営西石ヶ口住宅59棟外壁落下防止工事
- ・市営新橋町住宅62棟外壁落下防止工事

外壁落下防止工事イメージ



【拡充】住宅・建築物耐震化促進事業 33,515千円

[開発建築指導課]

【事業説明】

地震に対する安全性の向上を図るため、木造住宅に対する耐震診断員の派遣や耐震改修費及び危険なブロック塀の除去費等を助成します。なお、能登半島地震災害を踏まえ、令和6年度は募集件数を拡充します。

また、危険ながけ地（レッドゾーン等）にある住宅の移転等に対する助成をします。

	項目	予算額	募集件数	補助率	上限額
拡	木造住宅耐震診断	3,700千円	50戸 (うち20戸拡充)	(耐震診断員を派遣)	
拡	木造住宅耐震改修補助	15,000千円	15戸 (うち12戸拡充)	4/5	1,000千円
拡	特定建築物耐震診断補助	2,000千円	2棟 (うち1棟拡充)	2/3	1,000千円
拡	ブロック塀等耐震除却補助	3,000千円	30件 (うち24件拡充)	2/3	100千円
	住宅・建築物土砂災害対策改修補助	772千円	1戸	23/100	772千円
	がけ地近接等危険住宅移転補助	8,293千円	1戸	10/10	8,293千円
	住宅・建築物アスベスト改修補助	750千円	3件	10/10	250千円